

耐震性貯水槽と可搬式小型動力ポンプを整備 ～宝くじ助成事業を活用～

火災時の水利確保や災害時の生活雑用水として使用できる耐震性貯水槽を、山本多目的集会施設（国府町山本）に整備しました。今年度もう1カ所整備する久々野支所（久々野町無数河）は支所建設に合わせて今年度中に整備します。

また、耐震性貯水槽の整備に合わせて、小型動力ポンプを各自主防災組織に引き渡しますが、このポンプ一式は平成29年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成事業）を受けて整備しました。



引き渡されたポンプ一式の操作を学ぶ山本自主防災組織の皆さん（山本多目的集会施設）

宝くじの収益金は、広く社会のために役立っています。



問合先 防災課
☎32-0119

定期的に作動点検を
住宅用火災警報器の本体から下がっているひもを引く、あるいは本体のボタンを押すことで作動点検ができます。月に1回は作動点検をしましょう。

点検と手入れをお忘れなく



住宅用火災警報器は作動しますか？

手入れもお忘れなく

住宅用火災警報器にホコリなどが付着すると、火災を感知しにくくなります。

乾いた布などで拭き取りましょう。

電池交換をしましょう

住宅用火災警報器に使用されている電池の寿命は、製造時期やメーカーにより異なりますが、1年から10年ほどです。また、製品仕様に定めた電池の寿命を満たさず、短時間で電池が切れる場合もありますのでご注意ください。

なお、電池切れを知らせる警報音や光の点滅などを確認した

問合先

予防課
☎32-33027



購入の際は、NSマーク付き（日本消防検定協会の規格に合格した製品）の住宅用火災警報器を推奨します。

場合は、すぐに電池交換をしましょう。
※住宅用火災警報器本体もセンサーなどの寿命により取り換えが必要な場合があります。電池を交換した場合でも、10年を目安に取り換えましょう。

消防団車両を更新（朝日支団・国府支団）

小型ポンプ積載車の更新に伴う消防団への車両受渡式が11月17日に行われ、朝日支団の浅井・大廣班と国府支団の三川班にそれぞれ配備されました。

受渡式で三宅良一消防団長は「新しい車両とポンプ操作を熟知し、有事の際に万全を期すとともに、地域防災の要として、地域住民の負託に応えるべき活躍を期待します」と各団員に訓示しました。

市では、今後とも計画的に車両の整備を進めます。



朝日支団 浅井・大廣班



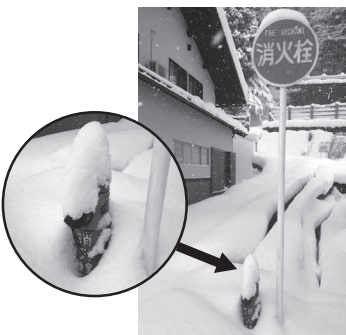
国府支団 三川班

問合先 消防総務課 ☎34-3792

消火栓周辺などの除雪にご協力を

消火栓などの消防水利やホース格納箱の除雪は消防署でも行いますが、急で大量の降雪があった場合は除雪が間に合わないこともあります。

地域の安全を守るため、消火栓やホース格納箱などの除雪に対して地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。また、除雪した雪を消火栓の



周りに寄せたり、防火水槽に投げ込まないでください。

問合先 防災課
☎32-01119